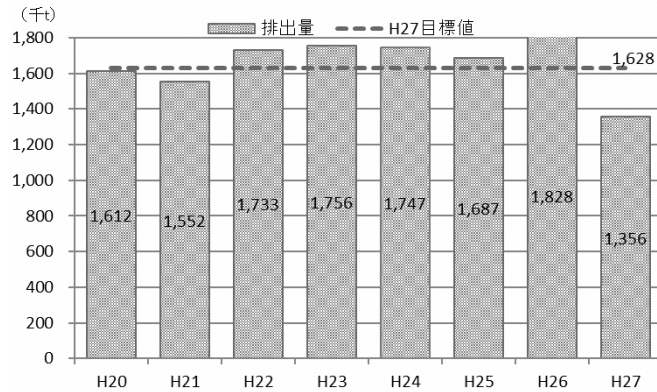


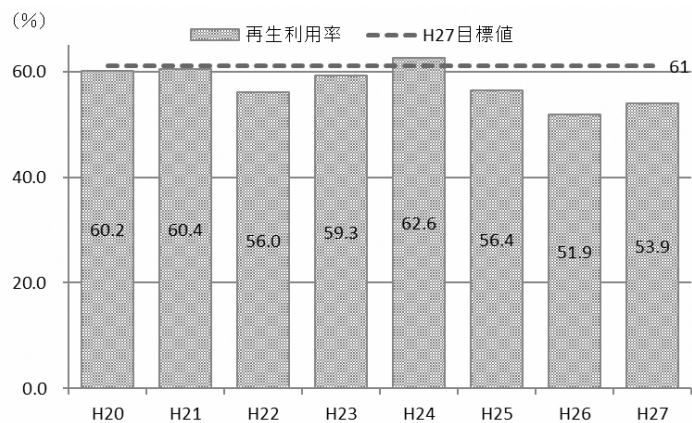
(2) 産業廃棄物

①排出量の現状



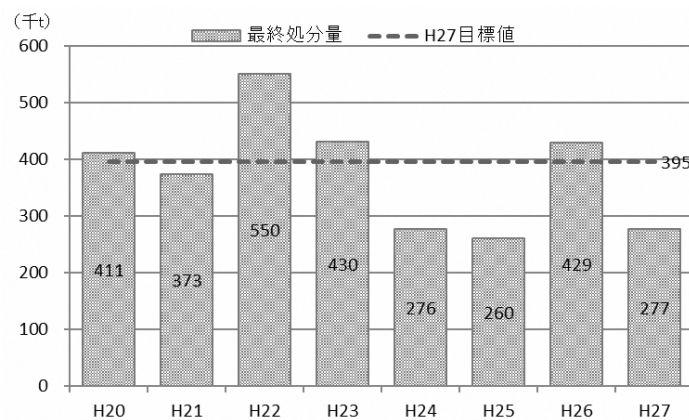
- ・産業廃棄物の排出量は、一般的には景気の動向などに大きく左右されるが、島根県では好不況にかかわらず増減を繰り返しながら推移している。
- ・その原因としては、島根県では公共事業の事業量や石炭火力発電所の稼動状況に大きく影響されることなどが考えられる。平成 27 年度は目標を達成。

②再生利用率（農業を除く）の現状



- ・平成 24 年度に目標を達成したが、それ以降は概ね 50%から 60%の間を変動しながら推移し、目標未達成。

③最終処分量の現状



- ・平成 22 年度をピークに、その後は、石炭灰のセメント資材利用などの需要増による資源化が進んだことなどで減少してきた。
- ・平成 27 年度は石炭火力発電所が平年並みの稼動となり埋め立て量が減少、目標を達成。